

令和元年度習志野市災害医療対策本部及び応急救護所訓練 反省会まとめ

災害医療本部

1. 設営について

目標	できた	できなかった	どちらでもない	コメント
物品の保管場所を確認できた	○			
無線機、プリンター、タブレットの正しい接続ができた	○			無線機 2 台が離れていたほうがよかったという意見あり
配置図を見ながら、設営ができた	○			コンセントがつかずきやすく危険な場所で配置について要検討
要した時間はどのぐらいでしたか？			10分 9時 15分 完了	スムーズであった
無線とホワイトボードが近くなるとよかったという意見あり 保健会館から持ってきたテレビは付かなかった(後日使用できることを確認)				

2. 役割について

目標	できた	できなかった	どちらでもない	コメント
各自の役割が概ね遂行できた	○			行政との連携もとれていた
手が空いている人が他の役割を助けることができた	○			無線担当が大変だった
情報が共有でき責任者に届いていた	○			本部長(次長)まで情報が入っていた。
行政への情報窓口が分かりづらかった。				

3. 無線について

目標	できた	できなかった	どちらでもない	コメント
音声での通信はスムーズにできた	○			
画像電送ができた(受信・送信共に)	○			
印刷はうまくできた	○			インクがすぐ切れてしまい、交換が多い、タイムロスになる
得た情報を共有することができた	○			
声が聞き取りづらいので、無線を 2 台離れたところに設置したほうがいいのか。 プリンターのインクがすぐになくなってしまい、交換するのが手間だった。				

4. 記録について

目標	できた	できなかった	どちらでもない	コメント
無線の情報を記録できた	○			どこの救護所からは来ている、来ていない等状況判断しながら記載していた
継時記録を作成できた	○			ホワイトボード分かりやすく記載できていた
情報伝達用紙等の活用	○			○付けるだけでよいところは記載しやすかった
紙のみでの情報伝達であるため、一人が持って他の場所へ行ってしまうと必要な情報が見られなくなってしまう。コピーはできないのでホワイトボードなどに記入するなどの方法もあるが、タブレットが1台あると撮って保存できてよいか。				

5. 物品について

あったらよかったもの
時計(記録者のところにはデジタル時計が必要)(1つはあり、今回出し忘れた) 延長コード(長・短) 手で切れるセロハンテープ(各文具入れに)養生テープ

6. その他、ご意見等

- ・応急救護所に誰が参集しているのか分からないため、あらかじめ定時報告の時間を決めておくとうい。
- ・搬送依頼リストの右側に、搬送先を検討する際にコーディネーターの判断や依頼した先など記入できる欄があるとよい。
- ・送られてきた写真の文字が読めないものもあった。ピントが合って撮れているか確認して送信してほしい。
- ・医薬品請求の流れが分かりづらい。保健所備蓄の医薬品の依頼方法だけでなく、酸素や給水車の依頼などのミッションもあり、判断が難しかった。次年度以降は医薬品のやり取りを経験できるとよい。
- ・業務日誌に救護所名を入れる欄がなかったので、どこから送信されたものか分からない。(入れるようにする)

7. 次年度の訓練に向けて

- ・本部には4カ所の救護所と4病院から次々と大量の情報が入るため、情報の整理や対応後のフィードバックを確実にこなっていくことが課題である。
- ・医薬品や酸素・給水車などの要請について、今回は確認で終わってしまったため、より理解を深めていけるような実践的な訓練を取り入れていくことも必要。
- ・災害医療コーディネーターが実際の応急救護所の状況を把握するために、各救護所訓練を見学できるような方法を検討する。